



管理業務

ダムは、洪水調節、河川環境の保全等及び新規利水の供給を目的としており、そのための管理業務は大きく分ける三つに分けられます。

① 低水管理（ていすいかんり）

ダムに流れてくる水の量やダムから流す水の量等の情報を監視し、水を流しています。

雨が降らないと川の水が少なくなり、田畑へ水がいかなくなり、また、川にすむ生物も生きるのに大変です。このため、川に水を流しています。

家庭や工場へ必要な水の量について情報を集めて水を流しています。



② 高水管理（たかみすかんり）

梅雨や台風などで大雨が降った時、ダムに流れてくる水をため、調節してゆっくり下流に水を流し水害がおきないようにします。



③ 施設管理（しせつかんり）

ダムの安全性、低水管理及び高水管理を行うために、堤体の観測及び施設の点検・整備等を行います。

